

自由国会議員代表

# 塩川 正十郎



自民党本部での講演

## 吃驚提案

格差の拡大が大きな社会問題となり、その是正対策が緊急課題になっている。格差を論ずる人々は、所得の偏重からくる貧富の解消を重視している。しかしながら、その論点を延長すると、社会主義国家・統制経済体制に移行せざるを得ない。我々は、社会主義国家がいかに悲惨な生活を国民に強制したか、すでに多くの教訓を得ているので、所得分配・弱者救済を重視する格差是正論には賛成出来ない。

まず、日本経済が十分な成長を確保することが先決で、更に格差が出来る原因を改革することが必要である。我が国の政治・経済・文化等、すべてが余りにも東京に集中し過ぎるから、日本は偏屈な国になっている。

そこで、企業や事業所等の地方分散を図ることが必要である。その対策の一例として、奇策ではあるが、現在、法人税の5割は東京からの発生であるから、首都圏内企業は10%増税し、地方企業には10%減税をする。国税収入のバランスが取れて、企業は地方を見直す動機にするであろうと思う。税制の一律公平論からすれば不可能と云うだろうが、企業立地税としての発想で特例措置を創設すればよろしい。

また、格差の問題の根底は雇用にある。所得・教育・文化等の格差是正は、企業が地方に分散されることが絶対的な条件になる。更に、地方分散によって国土の均衡ある発展が可能になるのである。

現在の東京一極集中に無関心で、格差是正を論ずることは虚論に等しい。



塩川正十郎  
(しおかわ・まさじゅうろう)  
元衆議院議員〔当選11回〕  
大正10年10月13日生

### ● 主な経歴

自由国会議員代表 社会保障国会議員委員(現職)  
東洋大学総長(現職)  
運輸大臣・文部大臣・自治大臣・財務大臣(元職)  
内閣官房長官・国家公安委員会委員長(元職)  
自民党総務会長・自民党税制調査会会長(元職)  
自民党憲法調査会会長・自民党安全保障調査会会長(元職)

### ● 尊敬する人

父 母 福沢諭吉

### ● 今までで最もうれしかったこと

昭和42年1月衆議院選挙で初当選したこと

### ● 影響を受けた一冊の本

『国富論』 アダム・スミス

### ● 好きな言葉

「疾風知勁草、日久見人心」

### ● 趣味・スポーツ

旅行 登山

### ● 好きな食べ物

鮎 野菜 てんぷら



2008.2月 TBS「時事放談」収録中 慶大教授 片山義博氏と



カプリ島 ミケーレ・ディジャンニ総領事と